

## 平成 24 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録(案)

日時：平成 24 年 4 月 20 日（金） 17:30～20:30

場所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（社会基盤工学専攻大会議室）

出席者：宮池会長，水野(1 期)，高瀬(2 期)，大澤(4 期)，遠山(5 期)，堤(6 期)，近藤(7 期)，浜嶋(8 期・関西支部)，寺島(8 期)，河邑(9 期)，伊藤(11 期・教員幹事)，水野英(12 期)，田中(13 期)，磯部(14 期)，向井(15 期)，大東(16 期)，若林(17 期・東京支部)，織田(17 期)，岩田(18 期)，水谷(19 期)，伊東(20 期)，後藤(21 期)，加藤隆(22 期)，中村光(23 期)，中野(24 期)，鈴木(26 期)，石川(27 期)，加藤博(28 期・幹事長)，川崎(29 期・副幹事長)，荻野(30 期)，小塩(31 期・名簿)，水野和(32 期)，葛西(32 期・広報)，香川(33 期)，三輪(34 期・会計)，田代(35 期・名簿)，中井(36 期・会計)，判治(37 期・しゃち)，田賀(38 期)，柴原(38 期・名簿)，中村友(39 期・広報)，二井内(41 期)，赤根(43 期)，奥岡(44 期)，酒井(44 期・しゃち)，三室(45 期)，後藤(46 期)，唐津(47 期代理・学生会)，長谷川・石田(49 期) 合計 50 名

■役員会に先立ち，会長・幹事長からの挨拶および幹事自己紹介（資料 24-1-0）があった。

### 報 告

1. 平成 23 年度会計報告（資料 24-1-1）（中井）
  - ・郵便振替が減少傾向。一方，システム変更による会費自動引き落としによる会費徴収の予定，講演会/学生補助/ホームページ関連費などの出費があった。
  - ・卒業する留学生 6 名が正会員へ登録。
  - ・50 周年時における昼食費補助代などがあった。
2. 会費納入状況報告（資料 24-1-2）（中井）
  - ・4 月 10 日現在の各期納入状況一覧が説明された。
  - ・30 期以降の納入率が減少傾向。
  - ・全体の納入率は 48.3%（平成 23 年度）
  - ・近年の未納率の増加について，留学生の増加や，大学院からの入学者が増加していることによるものだという指摘がなされた。
  - ・現在，会費は郵便振替が反映されていないが，赤字になることはない。
  - ・予算では会費が 500 万円。41 名が振込していない。150 万円少ない。
  - ・郵便振替が 334 名。
  - ・今後，郵便振替とコンビニの分を明確にして総会で報告する。
  - ・各期への声かけを引き続きお願いしたい。
3. 後援基金報告（資料 24-1-3）（野田，代理：中井）
  - ・学位論文印刷補助費に関して，and/or を明確化。

- ・助成金ルールは 23 年度に変更して以降、変更はなし。
- ・6名の留学生在が正式終身会員へ。しゃちへの投稿，学術リポジトリに登録。
- ・後援基金で，同窓会から英文ニュースレターの作成や発送を補助。

#### 4. 支部活動報告

##### 1) 東京支部（資料 24-1-4-1） (若林)

支部総会，役員会，幹事会，支部総会の開催状況が説明された。  
東京支部の方に出席を頂きたい（伊藤）

##### 2) 関西支部（資料 24-1-4-2） (浜嶋)

役員会，幹事会，若手の会(未実施)，50周年記念式への会員参加策の実施などが報告された。

##### 3) 北陸鏡ヶ池会（資料 24-1-4-3） (加藤)

14期山岸氏からの報告が紹介された。  
支部化は今後の課題であり，とりあえず今年の「しゃち」で活動を報告予定。

#### 5. 教室近況報告（資料 24-1-5-1・2） (伊藤)

- ・学科名が「社会環境工学科」から「環境土木・建築学科」へ変更されたことが説明された。コース名は土木が「社会資本工学コース」から「環境土木工学コース」，建築は「建築学コース」で従来通り。（1年生以降が対象であることも追加説明がなされた）。
- ・教員異動は少ない。
- ・国際環境人材育成センターの中野先生と梅村先生が新たに来られた。
- ・水谷先生が評議員に就任された。
- ・伊藤先生が情報基盤センター長に就任された。
- ・減災連携センター（全学センター）に野田先生が異動された。
- ・昨年に続き今年も土木系志望の学生が建築系より多かった（伊藤）
- ・1年生4名の留年が決定（伊藤）

#### 6. 学生会活動報告（資料 24-1-6） (唐津)

- ・土木展，懇親会，ソフトボール大会，卒業記念パーティー（謝恩会）の報告がなされた。
- ・会計報告があった。残金 13,920 円を平成 23 年度予算に繰り越し。
- ・卒業記念パーティーで制作したアルバムをここで上映し，どのようなものかを確認したいとの意見が述べられた。

#### 7. 女子の会報告（資料 24-1-7） (田代)

- ・ランチミーティング，学部生主体の懇親会，土木系教室 OG と学生の就職談話会の計 3 回の行事を実施したことが報告された。
- ・女子の会 4 万円の交通費補助を審議。
- ・OG の交通費が，現在保留状態。
- ・直前に加藤幹事長へ申告。役員会審議案件へ（加藤）

- ・(意見) 予算内でやるべき。手弁当，出張でお願いできる方に来ていただくのが，かつてのやり方
- ・次年度以降は，マナー講習会などの学生補助費用を使うのも一案。
- ・今回の2万円×2人は了承された。

8. 留学生関連活動報告 (資料 2-8) (崔，代理：三輪・中村光)

- ・ニュースレターの送付を準備中。
- ・しゃちの内容をアレンジすることが報告された。
- ・デザインはデザイン会社に発注。英訳は翻訳会社に。
- ・4 ページ，カラー印刷。
- ・送付対象者：留学生 300 名
- ・作成費は後援基金を利用，デザイン料など 10 万円弱の補助を希望。

9. 「銀しゃち」刊行報告 (資料 24-1-9) (加藤)

- ・「銀しゃち」刊行までの経緯，および経費について報告された。
- ・杉野氏へ編集を打診。メール審議。承認。
- ・企画書などの報告。(既に承認済み)
- ・昨年度は 40 万円の申請であったが，実際は 48 万円の支出があった。
- ・会費を払っている方のみへの送付。
- ・銀しゃち用名簿も必要との意見があった。

10. 土木事業談話会 (資料 24-1-10) (加藤)

- ・就職活動に関する談話会・懇親会，就職面接マナーセミナー，実施内容について報告がされた。
- ・談話会・懇親会については参加学生が其々64名，52名。
- ・交通費・料理代で 10 万 6000 円の補助。
- ・就職面接マナーセミナーには学生 51 名参加。
- ・講師代として 6 万 7400 円の補助。

11. 名古屋大学土木系教室 50 周年記念事業の経過報告 (資料 24-1-11-1~3) (中村)

- ・50 周年記念事業の概要報告は，既にしゃちにも掲載した。
- ・記念行事は約 650 名，懇親会は約 300 名が出席。キャンパスツアーは 144 名の恩師，OB/OG，大学生が参加。500 円の学食を補助 (計 72 万円の支出があった)
- ・50 周年のイベントとして特別講演会なども実施した。
- ・収支は決定していないが，概略収支を報告。関連審議あり。
- ・予算に関して，200 万円のうち 60 万円を補助。140 万円を鏡ヶ池会が購入。
- ・決算は，223 万 3000 円の収入。338 部の記念誌。
- ・支出項目として記念誌は未決定。(予算は 100 万円)
- ・審議。約 170 万円の使途について。残金 100~150 万円の使途を後援基金への提案。

(前提、記念誌 700 部の購入、鏡ヶ池会の 140 万円の記念誌購入をとりやめ、基金に繰り入れすることを提案)

- ・記念誌 (水谷) 最終版が上がり、現在最終調整中。印刷の直前。赤字にはならない見込み。
- ・(意見) 印刷部数を減らす。読んでもらう人を増やすという本来の主旨から外れる。
- ・(意見) 無料で配布は、既に購入している方との差ができるので無理。
- ・50 周年事業会＝鏡ヶ池会と教室の共有のお金。書籍販売のお金は、教室と鏡ヶ池会の相談の上で、後援基金なども議論して頂きたい。

## 12. その他

- ・全学同窓会が今年で創設 10 周年、盛大に祝ってほしいとの依頼。
- ・豊田講堂で全学同窓会の 10 周年記念行事。
- ・10 周年の記念誌を作る予定。

## 議 事

1. 幹事・役員の変更 (資料 2-0) (加藤)  
名簿：教員幹事 (舘石→伊藤), 31 期 (井上→石川, 名簿は修正済み), 48 期 (石田新任), 東京支部 (若林→仲田) の報告がされた。
2. 平成 23 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録 (案) (資料 2-12) (加藤)
  - ・議事録 (案) が一部誤字脱字修正の上了承された。
  - ・その他, の部分を加筆修正。
3. 「会員名簿」No.48 編集方針 (資料 2-13) (田代)
  - ・今年度 287 名が非表示を希望。非表示化傾向がストップ。
  - ・住所等が調べられていない場合には送付しない (304 名)
  - ・4 点のお願い。
  - ・(相談) 全学同窓会システムを利用できる方法を模索したい。全学同窓会と鏡ヶ池会との情報の取り扱いについて今後検討する。
  - ・全学同窓会の共有化を議論してきた。しかし、部局の上の組織ではない。名古屋大学が責任を持って管理している。全ての卒業生の名簿が入っている。
  - ・(相談) 将来的な電子ファイル化の相談。アンケート実施の相談。名簿電子化の議論。
  - ・2 割弱は PC を持っていない。紙媒体との分担は? (要望を聞く仕組みの選択肢もある)。
  - ・個人情報処理の方法。情報漏えいの危険性がある。名簿はデータ管理であり配布するかどうかは別問題。
  - ・大学側は卒業生の進路を知りたい。卒業生は同期さえ分かればよい。
  - ・会費負担の有無に関せず、送付する。
  - ・名簿のない同窓会は同窓会ではない。(名簿は精度が命)
  - ・同窓会から外れたいという意見もある。(サポートしましょう!)
  - ・システム上は一つのファイルで渡している。

- ・セキュリティとしてファイルに閲覧期限やパスワードをつけることが可能。閲覧時にページを飛ばせることで使い勝手も向上。
  - ・セキュリティ等を含めて、全体の設計の検討を開始する。(来年度に向けて)
  - ・しゃちとの役割・データ化について。
  - ・しゃちの付録の CD として名簿を位置付ける。
4. 「しゃち」No.53 編集方針(案)(資料 24-1-14) (判治)
- ・大枠の変更はなし。
  - ・特集記事は「名大土木の国際化」として検討中
  - ・ページ総数 100~110 ページ予定
  - ・広告について 50 社程に依頼, 2 割の会社から難しいとの返事, 1 社から了承を得る
  - ・しゃちの CD 化は読まなくなるのでは?
  - ・CD にする場合の方策について検討する方針で了承。
5. ウェブサーバについて(資料 24-1-15) (中村)
- ・メールサーバは運用 4 年目。今年 2 月に停止のトラブルをお詫び。同様のシステム・OS の社会基盤工学専攻のサーバについても問題が生じ, 省エネサーバへ移行。鏡ヶ池会もレンタルサーバ「お名前ドットコム」に移行したいとの考えを表明。
  - ・(審議 1) レンタルサーバへの移行の可否
    - ・現状では, 工学研究科へは移行できない。
    - ・移行について了承。
  - ・(審議 2) 「お名前ドットコム」に移行した際に生じる費用, 初期費用 945 円, 1 年間 1 万 6308 円, ドメインは購入済み, 合算 20000 円強の見込み。移行期間は総会後の夏頃を目途。ウェブページのリニューアルも検討
    - ・了承。
6. 総会について(資料 24-1-16) (加藤)
- ・総会の時間, 運営の役割分担について, 愛知県の OB と議論中。
  - ・会費変更なし。
  - ・総会の議案について審議。
  - ・講演会は開かないこと了承。
  - ・そのため, 開始時刻を 17:30 から 18:30 に繰り下げることで了承。
7. その他
- ・植下先生叙勲記念会から寄付金を頂戴する(後援基金へ), 了承。

以上